

これぞ「昭和の日」振り替え休日のコンサートショー！！

「花嫁人形」「明治一代女」「無法松の一生」「花かげ」「籠の鳥」、明治～昭和初期にかけて唄われていた曲目を、ゆったりと優しい大正琴の音色を伴奏に皆で合唱。スピードと効率化にせかされて過ごす現世代とは違って、激動の時代に生きながら口ずさまれた流行唄には、ゆっくりとした拍子の中に奥深い心情をせつせつと紡いでいることに感じ入ってしまいますね。結婚式に新婦が白無垢をまとうのは、「純粹に貴方の色に染まりますよ。」とのいわれとか。我が家では嫁の色に染まり、角隠しにあやかることができず、角を出させないように日々奮闘する一家の主でありました。

